

2020 年度報告事項

1. 2020 年度優秀業績の表彰

2020 年度優秀業績については慎重に検討された結果、

舘田 一博 氏 (東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

「Investigation of the susceptibility trends in Japan to fluoroquinolones and other antimicrobial agents in a nationwide collection of clinical isolates: A longitudinal analysis from 1994 to 2016」(Journal of Infection and Chemotherapy 2019 Vol.25、No.8 p594-604)

以上、1 件に二木賞が授与されることとなった。

柳川 泰昭 氏 (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター)

「Clinical Features and Gut Microbiome of Asymptomatic *Entamoeba histolytica* Infection」(Clinical Infectious Diseases 2020)

上記の研究業績に対して日本感染症学会北里柴三郎記念学術奨励賞が授与されることとなった。

2. 講演会

令和 2 年 8 月 19 日～8 月 21 日、グランドニッコー東京 台場および WEB 配信において第 94 回学術講演会を舘田一博会長のもとで開催した。

参加人数：3,270 人

会長講演 1 題、特別講演 3 題、招請講演 3 題、緊急企画 2 題、基調講演 10 題、教育講演 22 題、特別企画 6 題、イブニングシンポジウム 8 題、アフタヌーンシンポジウム 1 題、シンポジウム 60 題、第 2 回臨床研究促進助成中間報告 1 題、三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告 1 題、教育セミナー 1 題、ランチョンセミナー 27 題、ICD 講習会 1 題、市民公開講座 (FUSEGU2020 企画) 1 題

一般演題 318 題 (口演：158 題、口演 (英語)：22 題)、ポスター：138 題)

※開催日が変更となったため、上記一般演題のうち口演 49 題、ポスター 38 題取り下げ。

3. 雑誌刊行

1) 感染症学雑誌

第 94 巻 1 号より逐次刊行した。(第 94 巻 4 号：コロナ特集号)

地方会学術集会プログラムを掲載した。

2) Journal of Infection and Chemotherapy

Vol.26, No.1 より逐次刊行した。

インパクトファクター：1.722

JIC Award 2020 (Vol.26 p1177-80)

Yoshimura Yukihiko, *et al.*

Clinical Characteristics of the Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) Outbreak on a Cruise Ship

JIC Reviewer of the Year 2020

Dr. Yosuke Aoki (Saga University Hospital)

Dr. Yohei Doi (University of Pittsburgh School of Medicine)

4. 地方会

・第 69 回東日本地方会学術集会は、令和 2 年 10 月 21 日～10 月 23 日の 3 日間、宮崎義継会長のもとで第 67 回日本化学療法学会東日本支部総会 (石井良和会長) と合同開催として WEB 配信で行われた。

特別講演 2 題、招請講演 2 題、教育講演 15 題、シンポジウム 21 題、ミニシンポジウム 5 題、初心者のための入門講座 13 題、症例から学ぶ感染症セミナー 1 題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 1 題、ICD 講習会 1 題、教育セミナー 14 題

一般演題 106 題 (感染症：67 題、化療：39 題)

参加人数 1988 名

・第 63 回中日本地方会学術集会は藤田直久会長のもとで、第 90 回西日本地方会学術集会は渡邊浩会長のもとで令和 2 年 11 月 5 日～7 日の 3 日間、第 68 回日本化学療法学会西日本支部総会 (柳原克紀会長) と合同開催で

アクロス福岡および WEB 配信で開催された。

特別講演 3 題、教育講演 12 題、会長企画シンポジウム 1 題、シンポジウム 13 題、JaSA シンポジウム 1 題、日本環境感染合同シンポジウム 1 題、パネルディスカッション 4 題、ワークショップ 4 題、感染症入門講座 19 題、委員会報告 1 題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 1 題、症例から学ぶ感染症セミナー 1 題、ICD 講習会 1 題、スイーツセミナー 4 題、ランチョンセミナー 14 題、モーニングセミナー 4 題、中日本地方学術奨励賞選考セッション 12 題、研修医セッション 32 題 (中日本：15 題、西日本：14 題、化療：3 題)、学生セッション 10 題 (中日本：4 題、西日本：2 題、化療：4 題)

一般演題：107 題 (中日本：22 題、西日本：52 題、化療：33 題)

参加人数 2010 名

5. 感染症専門医審議委員会

1) 感染症専門医試験合格者 81名

(敬称略)

秋根 大	秋山裕太郎	阿部 祥英	有水 遥子	飯島 健太	飯田 康	五十嵐謙人	石川 尊士
石原 正樹	磯目 賢一	井上 恵理	井本 和紀	宇田紗也佳	大江 千紘	大澤 良介	大塚 正樹
岡田 雄大	奥野 英雄	奥村 俊彦	小田井 剛	小野健太郎	小野 大輔	加賀城美智子	加藤 早紀
加藤 裕史	川崎 剛	北野 弘之	草野 泰造	小坂 篤志	齋藤 真	佐野安希子	佐原 利典
澤木 賢司	鹿野 博明	柴田 怜	柴多 涉	清水 真澄	田岡 隆成	高橋健一郎	高松 茜
高村 典子	高柳 晋	竹下 健一	武田 啓太	田島 靖久	田代 研	寺前 晃介	中河 秀憲
中田 奈々	中本 貴人	西川 浩文	西原 悠二	西村 翔	丹羽 一貴	濡木 真一	野本 英俊
花田 豪郎	樋口 大	菱矢 直邦	船木 孝則	船津 洋平	古川恵太郎	古川 牧緒	古川龍太郎
松井 俊大	松尾 貴公	松村 拓朗	三島 伸介	水野 真介	三橋 達郎	宮里 悠佑	村田 健介
本村 良知	森 信好	柳沢 龍	山入 和志	山崎 晶夫	山下 優	山田 晴士	山室 亮介
山本 翔大							

2) 更新者 235名

令和3年1月1日現在専門医数 1,630名

3) 指導医 52名

4) 感染症専門医認定研修施設 319施設 (ホームページ参照)

5) 感染症診療体制充実および人材育成に関する要望書を厚生労働大臣、文部科学大臣、経済再生担当大臣、全国知事会宛に提出した。

6. インフルエンザ委員会

1) 提言「今冬のインフルエンザと COVID-19 に備えて」を2020年8月3日にHPにて公開した。

7. 感染症遺伝子検査委員会

1) 「多項目遺伝子関連検査の実施指針について (改訂)」を日本臨床微生物学会と合同で、2020年12月25日に公開した。

8. 臨床研究促進委員会

1) 第3回日本感染症学会臨床研究促進助成 (2020年度)

受賞者: 櫻井 亜樹 氏 (藤田医科大学医学部感染症科)

研究課題: *Aeromonas* 属細菌感染症の臨床像の検討と分子生物学的解析

2) シンポジウム開催

第94回日本感染症学会学術講演会

シンポジウム: あなたの日常診療を科学にしよう

Accepted Paper Session - 臨床研究の着想から論文アクセプトまで成功体験を共有する -

3) Institut Merieux Young Investigator Awards 2020 (若手研究者賞)

受賞者: 金森 肇 氏 (東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染制御・検査診断学分野)

4) レジオネラ症の起因菌分布に関するサーベイランス検討WG会議を開催した。

5) COVID-19重症化因子探索事業を開始した。

9. 学際化国際化委員会

1) 学際化

- ・プライマリ・ケア連合学会との共催セミナー開催
- ・Japan Sepsis Allianceに学会として参加 (日本救急医学会、日本集中治療医学会、日本感染症学会)

2) 国際化

- ・第94回日本感染症学会学術講演会
招請講演1 (ESCMID)、招請講演2 (IDSA)
- ・19th International Congress on Infectious Diseases (19th ICID) においてシンポジウムを共催する (2021年に再延期)。

10. ワクチン委員会

1) 「COVID-19 ワクチンに関する提言」を作成し、2020年12月28日に第1版、2021年2月26日に第2版をHPに公開した。

2) 新型コロナウイルスワクチン接種の接種順位の位置づけについて意見した。

3) “風疹ゼロ”プロジェクトに賛同した。

11. 男女共同参画推進委員会

1) 第94回学術講演会にて、シンポジウム「活躍する女性感染症医一次世代へのメッセージ」を行った。

12. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 関連

1) HP公開資料 (*は他団体合同・協力)

- ・「新型コロナウイルス感染症に対する臨床対応の考え方-医療現場の混乱を回避し、重症例を究明するために-」*
- ・「新型コロナウイルスの検査法に関する技術協力について」
- ・「感染蔓延期における医療体制の在り方とお願い-新型コロナウイルス感染症患者を診療される先生方へ-」*

- ・「血中抗 SARS-CoV-2 抗体検査キット 4 種の性能に関する評価結果」
- ・「新型コロナウイルス感染症に対する検査の考え方—遺伝子診断、抗体・抗原検査の特徴と使い分け—」*
- ・「ファビピラビル観察研究中間報告（2020 年 5 月 15 日現在）」*
- ・「一般市民向け 第一波を乗り越えて、いま私たちに求められる理解と行動」*
- ・「COVID-19 一般治療に関する観察研究」のご協力のおかげ（日本東洋医学会）
- ・日本内科学会、日本感染症学会合同声明文
- ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する胸部 CT 検査の指針（Ver. 1.0）」*
- ・リウマチ・膠原病患者の COVID-19 の情報提供のお願い（The Global Rheumatology Alliance）
- ・「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた熱中症予防に関する提言」『新しい生活様式』下における熱中症予防に関する学術団体からのコンセンサス・ステートメント*
- ・「新型コロナウイルス核酸検査に係わる施設基準ならびに、検体搬送・精度管理の方針【提言】」*
- ・「無症状者に対する SARS-CoV-2 検査での注意点」*
- ・「COVID-19 に対する薬物治療の考え方」第 2 版～第 6 版*
- ・「唾液を用いた PCR や抗原検査における検体採取や検査の注意点」*
- ・「ファビピラビル観察研究中間報告（2020 年 6 月 26 日現在）」*
- ・「新型コロナウイルス感染症流行下における熱中症対応の手引き（医療従事者向け）」*
- ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針 第 1 版」*
- ・「COVID-19 検査法および検査の考え方」
- ・「COVID-19 簡易抗原定性検査の“偽陽性”に関するアンケート調査」
- ・「COVID-19 に対するシクレソニド投与の観察研究」*
- ・「COVID-19 ナファモスタット観察研究」*
- ・「血中抗 SARS-CoV-2 抗体簡易検査キット 4 種の性能に関する検討」*
- ・「Significant Scientific 1000 Evidences about COVID-19」（古川俊治参議院議員）
- ・「花粉症患者の中に紛れ込む新型コロナウイルス感染症のリスク-“あやしい”と感じたときには積極的な検査を-」*

2) 症例報告

投稿数：113 報

3) COVID-19 院内感染対策検討ワーキンググループ

施設内感染についてのアンケート調査を行い HP に公開した。

4) 他団体合同・協力

- ・ SNS を活用した新型コロナウイルス（COVID-19）に対する個別情報提供システム（神奈川県）
- ・ 医療機関における心理職の心理的サポート（日本臨床心理士会）
- ・ 日本学術会議第二部大規模感染症予防・制圧体制検討分科会に館田理事長が参加した。
- ・ 新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する厚生労働省対策推進本部アドバイザー・ボードメンバーとして館田理事長が参加した。
- ・ 日本内科学会 COVID-19 対策チームへ館田理事長が参加した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症神奈川対策本部 IT 班より、「COVID-19 Information Value Improvement and Link Project（CIVIL project）」の協力依頼があり、聖マリアンナ医科大学・國島広之先生に当学会からの委員として協力を依頼した。
- ・ 日本疫学会、日本公衆衛生学会、日本環境感染学会と連名で「感染症対策のためのデータ収集システムの構築と利活用に関する要望書」を内閣府特命担当大臣、厚生労働大臣に提出した。

5) 寄贈・寄付等

- ・ 中華人民共和国駐日本国大使館よりマスク 5,000 枚の寄贈
- ・ ゼンショーHD スーパー部門（マルヤ）より ¥820,149 の寄付。
- ・ スリーエムジャパン株式会社より ¥6,240,000 の寄付。
- ・ いけばな桂古流よりいけばなの色紙。
- ・ 曹洞宗慈照山日輪寺より守護札。
- ・ 株式会社大塚製薬工場より希望する会員への経口補水液オーエスワン（OS-1）の提供。

13. 他学会合同事業

外来抗菌薬適正使用調査委員会の第 2 回アンケート調査を行なった（日本化学療法学会合同）。

14. 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会

単純性膀胱炎、複雑性尿路感染症

15. ICD 制度協議会

新規認定者 268 名 有資格者数 3,485 名（当学会推薦）

※上記事業報告については、感染症学雑誌に掲載の議事録参照。

庶務報告

1. 会員数 正会員：10,733名 賛助会員：22件 令和3年2月28日現在
除名については該当者無し
2. 第94回日本感染症学会総会は令和2年4月18日、グランドニッコー東京 台場において行った。
3. 令和2年度評議員会は令和2年4月18日、グランドニッコー東京 台場において行った。
4. 理事会は7回行った。
5. 感染症学雑誌編集委員会は対面での会議は行わずメール審議とした。
Journal of Infection and Chemotherapy 編集委員会は1回WEB会議を行った。
6. 学会賞選考委員会は1回行った。
7. 専門医審議会1回、専門医育成・教育部会会議1回をWEB会議にて行った。専門医試験委員会3回行った。
8. 学際化・国際化委員会は1回行った。
9. 男女共同参画推進委員会は1回WEB会議にて行った。
10. インフルエンザ委員会は1回WEB会議にて行った。インフルエンザ-COVID ad hoc 委員会は3回行った。
11. 臨床研究促進委員会（COVID-19 臨床研究 ad hoc 委員会：8回、レジオネラ検討委員会：6回）行った。
12. 中日本地方会・西日本地方会を統合し、静岡県を東日本の該当県とすることが理事会で承認された（時期は未定）。
13. 当学会の名を騙り商品購入を迫る行為があったとの情報提供があり、HPで注意喚起を行った。